

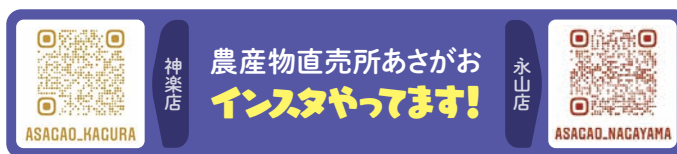
JA ASAHIKAWA
あさひかわ

3月2日開催 令和2年度高品質米生産者表彰式より

特集

第19回通常総代会
開催される

- ◆ 未来を拓く協同組合
- ◆ Your Life Time Partner
- ◆ 令和2年度 高品質米生産者表彰式が開催
- ◆ ゆめびりか甘酒×あずき発売



あさがお LINE@ 始めました

おトクな情報やイベント情報を配信中!

①左のQRコードを読み込む
②追加ボタンをタップ

または@077ohiawで検索

絶賛
お友達募集中!!!

JAあさひかわ
公式マスコット
水田守さん

JA ASAHIKAWA
あさひかわ

第19回通常総代会 開催される

4月9日（金）、本所3階大会議室においてJAあさひかわ第19回通常総代会が開催された。総代395名のうち385名（本人出席6名、代理出席0名、書面議決379名）の出席をいただきました。

今般の新型コロナウイルス感染拡大を受け、理事会での協議をもって感染拡大を防ぐ観点から、書面による議決権の行使を基本としての開催となりました。

午前10時の開会宣言後、島山組合長より1年間の農業情勢や事業ごとの取り組みについての挨拶が行われました。その後、議長に旭川市地区の河口敏之氏、旭正地区の石山俊也氏2名が選出され、議事日程に従って令和2年度の決算報告、令和2年度の事業報告、剰余金処分案の承認を経て、令和3年度の事業計画を始めた各議案、役員選任等について慎重に審議を行い、結果、提案された議案の全てが採択されました。



議長に選任された右から河口氏、石山氏



開会挨拶を行う 島山組合長



新役員決まる

第19回通常総代会終了後ただちに役員会を開催し、新役員体制を以下の通り決定した。

（敬称略）

【常勤】
代表理事組合長 島山 守穂【旭川市神居】
代表理事専務 古澤 祥弘【旭正】
常務理事 上田 裕治【学識経験】
常務理事 白崎 仁浩【学識経験】
常勤監事 山田 耕也【学識経験・員外】

【非常勤】
理 柿本 憲昭【旭川市】
理 一宮 敏昭【旭川市神居】
理 鈴木 英博【北野】
理 荒川 忠基【旭川市神居】
理 大澤 厚子【女性部】
理 秦 真一【旭川市】
理 石坂 寿浩【旭正】
理 本谷 義孝【北野】
理 小川 耕司【旭川市】
理 宮城 恵子【女性部】
理 中川 幸広【旭川市】
理 村田 典彦【旭正】
理 高山 彰久【旭正】
代表監事 安達 光一郎【旭川市】
監事 室崎 秀昭【旭川市神居】
監事 村田 真一【北野】

※新役員につきましては、6月発行予定の特別号にてご紹介致します。

組合長開会挨拶



代表理事組合長
島山 守穂

本来であれば、総代の皆様に対して、ご出席いただくところでは有りますが、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大を受け理事会での協議をもって感染拡大を防ぐ観点から運営委員会及び組合員合同懇談会については中止させていただき、総代会は書面による議決権の行使を基本として開催いたしました。

何卒、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、行ったことをご理解ください。

また、本来であれば旭川市、鷹栖町はじめJAグループ各連合会、各関係機関の皆様にご臨席賜るところ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来賓の招待を中止していることを報告いたします。

さて、農協事業を取り巻く環境は、コロナ禍の影響を受け米の在庫は過剰なこと、今まで農業を支えてきた世代のリタイアを契機に大規模化など構造の変化。

信用事業において少子高齢化と人口減少による需要の低下、低金利環境の長期化による収支の悪化、信連の奨励施策の見直しなどにより厳しい状況に直面しています。

このような状況の中、経営の健全性確保に取り組みなければなりません。

令和2年度の地域農業を振り返りますと3月の気温は高く推移し、融雪も早く圃場の乾燥は進み、水稻播種をはじめ各種作業も順調に開始されました。5月後半から6月前半の高温、7月、8月は平均気温も高く推移し9月以降は日照不足であり異常気象の中で農産物を生産するには苦勞の多い年でした。

水稻においては、稔実粒数が多く、千粒重は重かったことから上川の作況指数は107の「良」となりました。

令和3年は、消費者、販売卸売業者のニーズに沿った作付誘導と品質・収量目標の設定及び販売価格のポジショニングの設立の確立を図ります。

畑作物は、小麦・そば・大豆 全体的に平年作を上回る収量となりました。令和3年は、生産体制を強化するとともに契約栽培による販売価格の安定化を図りブランド化を推進してまいります。

青果の販売面は、コロナ禍で外食を中心とした観光需要の減少で厳しい販売を強いられましたが、量販店に対し共計共販、安定継続出荷に努め年間を通じて単価高で推移し、令和3年は高品質・安定継続出荷に努め、消費者や市場・量販店から信頼される産地づくりに取り組んでまいります。

農産物直売所あさがおは、毎年「新鮮で「安全・安心」な農産物等を消費者の皆様提供しており今後も地域に信頼され、消費者が安心して購入できる直売所を目指してまいります。

次に酪農畜産は、新型コロナウイルスの影響により外食産業をはじめとした消費減少による個体相場下落がみられましたが、系統機関と協力し有利販売を進めました。TPPや日欧EPAなど外的要因の相場へ与える影響も見られ先行きが見通せない情勢が続いていることから、補助・助成事業の活用を推進し、各経済連携協定発効による影響を最小限に留めるべく活動してまいります。

様々な食育活動を計画してましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から自粛を余儀なくされ終息次第、地産地消、食育の推進を行っていきます。また、農協の各部門が協力してTACの渉外活動を行い、担い手農業

者の販売力と購買力の強化に努めてまいります。

信用事業 貯金は、他金融機関への流出減少、貯金量確保につながり年度末計画の貯金残高を上回ることができました。貸出金は、春先の買い控え等の影響により貸出案件の出遅れが要因となり計画残高を達成できませんでした。令和3年は金融事業運営基盤の維持・強化に努め信頼されるJAバンクを目指します。

共済事業は、人口の減少、少子高齢化に伴う取扱量の減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大により推進活動の制限を余儀なくされ計画達成に至りませんでした。

令和3年は、組合員・利用者へ訪問活動を通し丁寧な保障点検を実施し、多様なリスクへのサポートを行い、安心を提供してまいります。

さて、令和2年度の決算は、コロナ禍の影響により収益減少が懸念されましたが、経費の削減や支所の統合等を進め当初の剰余金計画を上回ることが出来ました。

このことは組合員皆様の農協事業に対する深いご理解と積極利用の賜物と心から感謝申し上げます。

本年は、「第7次農業農協中期3ヵ年計画」2年目となります。

総合事業を営む当組合は、老朽化が著しい支所・施設・事業所の移転、統合や機構の見直しを図ります。また、社会・経済の変化に対応し地域農業の振興や組合員の生活の安定、向上に貢献していくため東旭川、東神楽、びつぶ町、上川中央の農協と合併検討委員会を設立し検討することになりました。今後は「将来の各農協の組合員動向及び経営動向の見通しの予測」や「合併の効果等」を協議・検討していく予定となっておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが本日の第19回通常総代会が皆様のご協力に依り、あさひかわ農協の明日に向けての意義ある第一歩となることをお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。本日は宜しくようお願い申し上げます。

Your Life Time Partner

令和3年度『Your Life Time Partner』(あなたの生涯パートナー)をキャッチフレーズに農業後継者に結婚祝、出産祝。担い手のお子さんに小学校入学祝として文具セットのプレゼントをお渡ししました。



ご入学おめでとうございます



旭正地区
下谷 卓裕さんの長女
下谷 このみ ちゃん



旭正地区
安田 幸市さんの長女
安田 市楓 ちゃん



北野地区
前田 直樹さんの長女
前田 心羅 ちゃん



神居地区
近澤 慎二さんの三男
近澤 蒼樹くん



中央地区
小川 耕司さんの長女
小川 穂乃花ちゃん



ご結婚おめでとうございます



神居地区
浅野 健次郎 さん



永山地区
目黒 大地 さん



お誕生おめでとうございます



中央地区
小川 耕司さんの長男
小川 耕史朗くん



永山地区
佐藤 俊さんの長男
佐藤 紬来くん

事故センター 移転のお知らせ

事故センターが本所に移転致しました。

☎ 所在地 〒078-8234 旭川市豊岡4条1丁目1番18号

☎ 電話番号 0166-39-6011

☎ フリーダイヤル 0120-258-931 (事故などのご連絡先)

0120-063-931 (レッカー・応急対応のご連絡先)

未来を拓く協同組合

進めよう! 国消国産

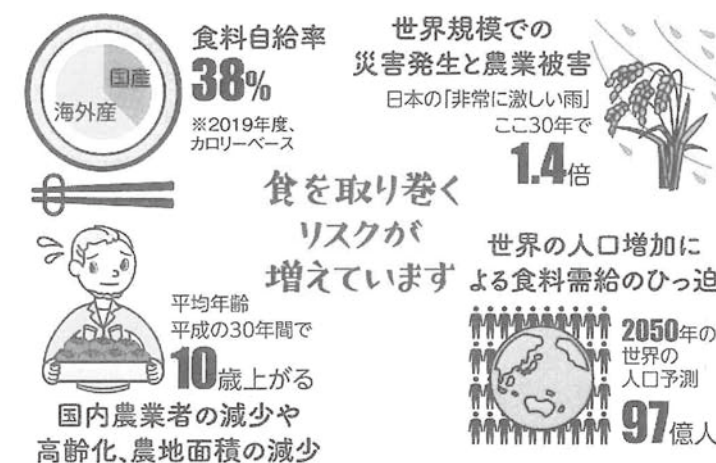
〈今回のテーマ〉国消国産ってなに?

「国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産する」という、JAグループの考え方です。

新型コロナウイルス感染拡大により、マスクの需要が急激に増えました。その大部分は輸入に頼っていたことから、国内は一時深刻なマスク不足に陥りました。もしそれが食料であったらどうなっていたでしょうか。

コロナ禍では、実際にいくつかの国が食料の輸出を制限しました。また、食料不足に陥っても、短期間での食料増産は難しいです。

こうした実態を多くの国民にご理解いただき「食料を生み出す農業・農村を支えたい」と思う人を増やしていく必要があります。



出典:農水省 食料需給表、農林業センサス、農業構造動態調査/気象庁/国連 世界人口推計2019年版

農業用廃ビニール・ポリ等の回収について

組合員の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より当農協の事業運営に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度1回目の農業用廃ビニール・ポリ等の回収を下記要領にて実施致しますのでご準備等をお願い致します。

梱包方法

農ビ・ポリを混ぜないでそれぞれ梱包して下さい。又、汚物を落とし1m×2m角以内に丸め、1梱包20kg程度にまとめて2か所縛って下さい。

料金

1kg当り 34円（税別）
料金内訳 運搬・処理料 1kg当り 32円（税別）
回収手数料 1kg当り 2円（税別）

助成金

運搬・処理料の40%
（1kg当り32円の40%、13円程度の助成）

精算日

運搬・処理料、手数料、助成金の精算は7月下旬に予定
※起算日：令和3年8月23日（月）

産業廃棄物 処理契約

運搬・処理業者と農協が一括して締結しますので、委任状に印鑑が必要となります。
必ず印鑑をご持参下さい。

回収期間

令和3年6月1日（火）～4日（金）

【地区別日程表】

地 区	回 収 日	回収受付時間	回 収 場 所
旭 正	6月1日（火）	午前9時～午後3時	東旭川町旭正36-2 （資材センター農業倉庫前）
永 山	6月2日（水）	//	永山町10丁目143-5 （永山野菜集出荷場横空地）
神居・神楽	6月3日（木）	//	西御料5条2丁目 （旧神楽野菜集出荷場）
江丹別	6月4日（金）	午前9時～午前11時	江丹別町中央 （そばの里江丹別店裏）
西神居	6月4日（金）	午後1時～午後3時	神居町神居古潭44-3 （西神居事業支所）

※平成17年4月1日より、廃棄物処理及び清掃に関する法律施行令及び施行規則の一部改正による産業廃棄物運搬車にかかわる表示が義務付けされました。各資材センター及び支所、事業所へ表示に必要な書類を配布しておりますので、農協へ持ち込む際には、必ず氏名を記入の上、運搬車前面部分に表示してください。

※神居・神楽地区は本年度につきましても11月の回収時に2日間実施する予定しております。又、回収場所が本年度も引き続き「旧神楽野菜集出荷場」になっておりますのでお間違えの無いようお願い致します。

※地区毎に回収日が異なりますが、期間内であれば地区を関係なく回収場所にて受付、回収致しますのでお持込み下さい。

又、ご不明な点等がございましたら、購買部購買課又は各資材センター及び江丹別支所、西神居事業支所までお問い合わせ下さい。

令和2年度 高品質米生産者表彰式が開催



第1部門 金賞 花釜 貴子さん(旭正)



第2部門 銀賞 井上 孝夫さん(旭正)

旭川米生産流通協議会は3月2日（火）令和2年度高品質米生産者の表彰式を開催しました。

『ななつぼし』『ゆめぴりか』『ほしのゆめ』のタンパク含有率6.8%以下の高品質米出荷生産者を讃えるもので、作付面積規模により第1部門・第2部門に区分し単位面積あたり出荷数量が多い生産者を地区優秀賞として選出し、上位3名を金賞・銀賞・銅賞、次点の生産者を特別賞として表彰するものであります。令和2年度については、第1部門金賞に旭正地区の花釜貴子さん、銀賞に中央地区の只石博幸さん、銅賞に北野地区の小滝信治さんが受賞となり当JA生産者が第1部門高位3賞を独占受賞されました。また、第2部門銀賞は旭正地区の井上孝夫さんが受賞されました。当JAの各受賞者は次のとおりです。

なお、毎年開催されておりました生産者総合研修会については、新型コロナウイルスの感染を考慮し中止となりました。

受賞者の皆様おめでとうございます！

（敬称略）

【第1部門】

金 賞 花釜 貴子（旭正）
銀 賞 只石 博幸（中央）
銅 賞 小滝 信治（北野）

地区優秀賞 高橋一孜郎（永山）
清水 和之（神居）

特 別 賞 湯浅 誠（中央）
稲場 康秋（永山）
膳法 法幸（北野）

【第2部門】

銀 賞 井上 孝夫（旭正）

地区優秀賞 宥小川農園（中央）
須藤 政春（永山）
藤原 正光（神居）
中家 彰（北野）

特 別 賞 沢田 健（旭正）

水 稲

1 1.5葉期～移植までの育苗管理

- (1) ハウス内の温度は必ず葉先で測定し、苗の伸長にあわせた温度管理をしましょう。
- (2) 早期異常出穂を防ぐため、特に**2.5葉期以降は25℃以上にならないように**注意しましょう。
- (3) 中苗マットは1.0～1.5葉期と2.0～2.5葉期に追肥しましょう。また、「ゆめぴりか」の成苗ポットは苗代分げつを確保するために、2.5葉期以降3葉展開前に追肥しましょう（表2）。

表1 1.5葉期～移植までの育苗管理の目安

葉数	中苗マット	1.5葉～3.1葉	3.1葉～移植
	成苗ポット	1.5葉～3.5葉	3.5葉～移植
管理目標		苗の徒長防止	苗質の充実硬化
温度	日中	18℃～20℃	18℃～外気温
	夜間	10℃以下にしない。移植前は晩霜に注意する。	
かん水	基準	晴天時の早朝に十分かん水する。	
	目安	早朝、葉先に水滴の付着が少なくなった時に行う。 中苗マットでは、日中、葉の開が悪いときに行う。	
	方法	早朝、箱の下に浸透するようにかん水する。 低温時や午後のかん水は避ける。	

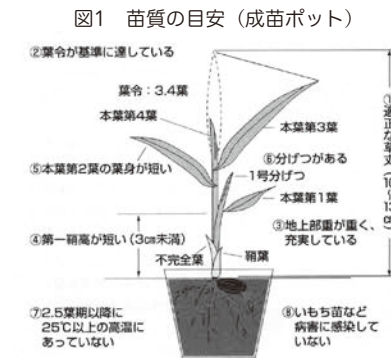


表2 育苗追肥基準

育苗型式	1回目	2回目	3回目	1回当たりの窒素追肥
中苗マット	1.0～1.5葉期	2.0～2.5葉期	(3.0葉期)	1.0g/箱
成苗ポット	-	-	(3.0葉期)	0.5g/箱

育苗型式	施肥例1 NP化成57	施肥例2 くみあい育苗液肥
中苗マット	7g/箱	液量5ml・水量500ml/箱
成苗ポット	3.5g/箱	液量2.5ml・水量500ml/箱

表3 品種ごとの移植時の適正葉齢

品種	成苗ポット	中苗マット
ななつぼし	3.6～4.0葉	3.1～3.5葉
ゆめぴりか	3.6～4.3葉	
きらら397	3.6～4.4葉	

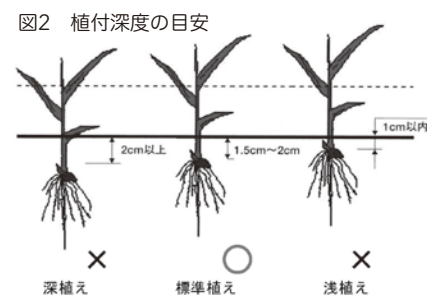
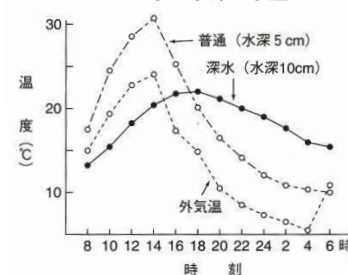


図3 かんがい水の水深と水温



2 移植時の注意点

- (1) 移植後半は外気温が上がるため、老化苗となりやすく早期異常出穂の原因となります。は種作業を計画的に行い、適正な葉齢で移植するように努めましょう（表3）。
- (2) 栽植密度を高めると収量を確保しやすく、タンパク含有率を低下させる効果が大きくなります。ゆめぴりか等の良食味米（低タンパク米）の安定生産に向けて、栽植密度を高めましょう（目標栽植株数：成苗22～25株/m²、中苗25株/m²）。
- (3) 植え付けの深さは1.5～2cmの標準植えとしましょう。極端な深植えは生長点の地温が低く、活着や分げつの発生が遅れます。また、極端な浅植えは転び苗や浮き苗が発生しやすくなります（図2）。
- (4) 移植終は5月25日頃を目安とし、適期移植に努めましょう。

3 移植後の管理

- (1) 移植を終えたら、直ちに入水し苗を落ち着かせましょう。その後の入水は夜間～早朝に行い、昼間は止め水管理として水温上昇を図りましょう。
- (2) 水深が深いと水温の急激な変化は少ないため、気温が低いときに水温で稲体を保護できます。一方、水深が浅いと水温の変化が大きいです。水温も上昇するため分げつが促進されます（図3）。そのため、天候の良い日は水深を浅くし、低温や風の強い日は水深をやや深くしましょう。
- (3) 除草剤散布は、使用期間内で早めの散布が効果的です。除草剤処理後は、処理層を保つことが重要です。特に処理後7日間は田面の露出や、入水は極力避けます。

～農作業は十分に余裕をもって、事故・けがに注意しましょう～

JAあさひかわの
気になるニュース

ゆめぴりか甘酒×あずき 販売開始！ 米麹とあずきで酵素補給と抗酸化！

旭川産
ゆめぴりか甘酒
×
十勝清水町産
あずき

米糲発酵による、自然な甘さ。
糖類無添加、アルコール分0%。

お米とあずきだけ。

JA ASAHIKAWA
あさひかわ
×
十勝清水町農業協同組合



日頃より農産物直売所あさがおをご利用いただき誠にありがとうございます。

皆様方から好評をいただいております「ゆめぴりか甘酒」の第2弾として、4月14日にJA十勝清水町とのコラボ商品として「ゆめぴりか甘酒×あずき」の販売を開始しました。2016年から販売する「ゆめぴりか甘酒」に十勝清水町の小豆を使用したパウダーを混ぜ合わせたもので、食品添加物はもちろん、砂糖などの糖類も不使用。原料は米と小豆しか使用しておりません。甘酒「ゆめぴりか甘酒×あずき」は1缶190g240円で農産物直売所あさがお神楽店・永山店、旭川市内ホクレンショップ店舗のほか、「あさがおオンラインショップ」でも販売しております。

理事会だより

第1回 理事会

令和3年2月26日(金)

監査報告

- 1 令和2年度資産自己査定の監事監査結果報告について
- 2 令和2年度決算監事監査の結果報告について

決議事項

- 1 資産査定の結果及び償却・引当について
- 2 減損処理について
- 3 税効果積立金について
- 4 令和2年度決算(子会社含む)について
- 5 令和3年度事業計画について
- 6 収支予測結果の中央会への報告について
- 7 規程類の一部変更について
- 8 共済規程の変更について
- 9 第19回通常総代会について
- 10 第19回通常総代会提出議案について
- 11 理事に対する資金の貸付について
- 12 役員賠償責任保険契約の締結について
- 13 組合員の持分譲渡について

報告事項

- 1 令和2年度債務者区分別分類結果一覧表について
- 2 内部監査の実施報告について
- 3 令和2年度対策農家結果報告について
- 4 令和2・3年度産米 生産の目安の算定について
- 5 品種別作付実績及び令和3年度産作付計画について
- 6 ポジティブリスト青果物損害見舞基金補償制度加入状況について
- 7 農産物直売所の営業期間・営業時間について
- 8 令和2年度肥料・農業に係る大口奨励等について
- 9 反社会的勢力排除対応管理先に係る対応状況報告について
- 10 疑わしい取引の届け出状況について
- 11 信用リスク管理態勢に係る貸付実績報告について
- 12 貸出金利表の改定について
- 13 第1回全体推薦会議意見集約について
- 14 組合員懇談会中止に伴う意見集約について
- 15 固定資産の取得について
- 16 事務リスク管理規程に係る第4四半期のコンプライアンス事故報告概要について
- 17 コンプライアンス・プログラムの下期取組状況について
- 18 組合員の加入及び脱退の状況について
- 19 系統外預金状況について
- 20 人事異動について
- 21 その他

監事会・監事監査の報告

監事会

- 第1回 監事会 令和3年2月25日開催
第2回 監事会 令和3年3月5日開催
第3回 監事会 令和3年3月9日開催

監事監査

1. 随時監査
令和3年2月15日、16日の2日間実施
2. 決算監査
令和3年2月17日、25日までの間で6日間実施
3. 随時監査(組合員組織会計)
令和3年3月10日に6組織を実施
4. 無通告監査
令和3年3月に営農企画部と4金融支所、1支所、1事業支所、1給油所、3給油所、2資材センターを実施

※随時監査と無通告監査は、内部監査室と合同で実施しました。

第2回 理事会

令和3年3月16日(火)

決議事項

- 1 会計監査人の監査報告について
- 2 みのり監査法人の再任並びに報酬等の決定について
- 3 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について
- 4 第19回通常総代会の開催について
- 5 第19回通常総代会議事録の作成者について
- 6 大口貸付について
- 7 理事に対する貯金および共済担保貸付について(包括承認)
- 8 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書について
- 9 旭川協同総業(株)役員の推薦について
- 10 鷹栖町環境審議会委員候補者の推薦について

報告事項

- 1 令和3年2月末事業実績(子会社含む)について
- 2 旭正地区農用地利用調整組合設立について
- 3 JA職員による労働力支援の取組について
- 4 貸出金利の一部改正について
- 5 「JAバンク基本方針」の変更について
- 6 役員選任における役員候補者について
- 7 規程類の一部変更について
- 8 組合員懇談会中止に伴う意見及び回答について
- 9 ゴールデンウィーク期間中の営業について
- 10 組合員の加入及び脱退の状況について
- 11 人事異動について
- 12 その他



概要

(令和3年3月末実績)

組合員数	正組合員	1,715 名
	准組合員	18,207 名
	合 計	19,922 名
出 資 金 残 高	2,018 百万円	
販 売 取 扱 高	68 百万円	
生 産 資 材 供 給 高	113 百万円	
給 油 所 供 給 高	296 百万円	
生 活 供 給 高	7 百万円	
貯 金 残 高	99,847 百万円	
融 資 残 高	20,681 百万円	
長 期 共 済 保 有 高	1,585 億円	

お悔やみ

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

2/3	富樫 征四郎	さん	永山地区13区農事組合
2/7	若栗 克美	さん	北野地区とうわ農事組合
2/11	下谷 富一	さん	旭正地区共栄2農事組合
2/12	佐藤 健治	さん	旭正地区共栄3農事組合
2/27	眞下 仁志	さん	旭正地区東部(旭正)農事組合
3/10	杵村 弘	さん	北野地区とうわ農事組合
3/16	能島 澄子	さん	旭川中央地区牛朱別農事組合
3/21	土佐 広治	さん	旭正地区忠別2農事組合
3/25	松岡 次夫	さん	北野地区8区農事組合
3/30	鈴木 美津子	さん	永山地区8区1組農事組合

JAグループ通信

JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

株式会社コンサドーレとJAグループ北海道は、平成19年に相互協力協定を締結しておりましたが、協定の締結から10年以上経過しており、世の中を取り巻く情勢が大きく変化していること、また北海道コンサドーレ札幌がクラブ創立25周年を迎えることから、SDGsを基本方針とし食農教育・社会貢献活動をさらに発展させ活動していくことを目的として、新たに連携協定を締結いたしました。

これまでは、北海道コンサドーレ札幌の選手やサポーターが播種・収穫作業をする「コンサ・土・農園(コンサ・ド・ファーム)」の開園や、選手やコーチが「みんなのよい食JA親善大使」に就任し農業や食について勉強も行うサッカー教室など、食育をはじめスポーツ文化の発展や地域づくり、地域発展などの各分野で協力を深めてまいりましたが、今後はこれらの活動をより一層強化してまいります。

令和3年度の北海道コンサドーレ札幌との連携活動は、アグリアクション北海道の取り組みとして位置づけ、実施してまいります。

JA北海道信連

新型コロナウイルスの影響から、窓口でのサービス提供をご心配されるお客様もいらっしゃるため、JAバンクではインターネットを利用したお取引をおすすめしています。令和3年2月からは、インターネットで「JAネットバンク」の利用申し込みができるようになり、ご登録の翌日よりご利用いただけます。

「JAネットバンク」は、窓口やATMに行かなくても、スマホやパソコンから、ほぼ24時間、残高の確認やお振込みができるので大変便利です。また、他にもマイカーローンや教育ローンなどもインターネットからお申込みできますので是非ご利用ください!

JAグループ北海道の連合会の活動内容をご紹介します。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA共済連北海道

JA共済では、4月よりスマホのアプリとして『JA共済アプリ』を展開します。アプリを起点としてお客様が加入している契約内容を確認したり、コロナ禍で非対面のニーズが高まっているなか、JA窓口に行かなくても住所や電話番号などの変更手続きができたり、「いえ」・「くるま」の共済で事故があった際に事故の報告ができるようになります。

デジタル技術を活用し、お客様の利便性の向上や非対面ニーズに対して今後も引き続き取り組んでまいります。

大地がひとを強くする。
AGRIACTION!
HOKKAIDO

人事異動

❖退職

日 付	資格名	氏 名	住 所
2/28	係	田 中 祥 太	豊岡金融支所貯金共済課係
3/31	考査役	池 田 崇	金融共済部融資・農家経営対策課考査役
3/31	係	高 橋 沙 耶	神居金融支所貯金共済課係
3/31	係	亀 田 未 夢	購買部燃料課豊岡給油所係

❖異動

日 付	資格名	氏 名	新役職	旧役職
4/1	係	山 屋 仁 美	神居金融支所融資相談課係	永山金融支所融資相談課係